

## UNDB-J ロードマップのフォローアップの結果(概要)

## 1. フォローアップ作業

- ・各団体に個別の取組に関する、工程表と取組の個票をリバイスして頂き、事務局でフォローアップ結果をとりまとめ（対象 31 団体 73 取組）
- ・具体的なリバイス内容は、令和元年度の取組結果と、それを踏まえた令和 2 年以降の取組の見直し。
- ・取組の評価については、昨年度に引き続き、取組の「自己評価」欄に、「A：予定した取組を概ね実施できた」又は「C：予定した取組を実施できず」の標語、併せて簡単な自己評価コメントの記載。

## 2. フォローアップ結果概要

○指標については、3 団体が新たに設定（現時点で 22 団体が指標設定）

<新たに設定した指標>

- ・日本発の水産エコラベルの普及促進（取組 5 - 1）  
取組団体：（一社）大日本水産会  
定 義：認証数、イベントの参加者
- ・植物多様性保全拠点園ネットワーク事業（取組 13 - 1）  
取組団体：公益社団法人日本植物園協会  
定 義：生息域外保全数、種子・孢子等保全数
- ・地域における生物多様性保全活動支援（取組 31 - 4）  
取組団体：環境省  
定 義：生物多様性保全推進支援事業 事業数

○「自己評価」については、「A」評価が 68、「C」評価が 5

<自己評価 C>

- ・MY 行動宣言 5 つのアクションの呼びかけ（取組 0 - 1）  
取組団体：国連生物多様性の 10 年日本委員会  
自己評価：着実に数を増やしているものの、このままでは 100 万宣言への到達は厳しい状況である。
- ・いきもの学びねっと（取組 14 - 3）  
取組団体：公益社団法人日本動物園水族館協会

自己評価：①ポータルサイト運営は継続して実施。

②令和元年度の JAZA の WEB サイト全面リニューアルによる情報のリセット後、情報数が激減したままとなっている。

③リンク先拡充については、30 年度については、実施していない。

・ 自然ふれあい行事（取組 19-1）

取組団体：一般財団法人自然公園財団

自己評価：開催した自然観察会やイベントについて、地元新聞に取り上げられることで、普及促進につながっているが、台風や新型コロナウイルス感染の影響を受け、参加人数は前年度比約 82%に留まった。

・ 東日本大震災復興支援「海岸防災林再生活動」（取組 23-5）

取組団体：公益社団法人国土緑化推進機構

自己評価：新型コロナウイルス感染症対策として一部中止

・ 生物多様性に配慮した緑地整備の推進（取組 25-2）

取組団体：生物多様性自治体ネットワーク（NLGB）

自己評価：各自治体において実績なし。